様式第６号（広島市防災訓練補助金交付要綱第１１条関係）

記入例

【報告書提出先】

　各区役所地域起こし推進課

避難の呼びかけ体制づくり報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 自主防災組織名 | ○○町内会自主防災会 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| № | 項　　目 | 内　　容 |
| ※１ | 世帯数・人口 | 約１００世帯、約２５０人 |
| ※２ | 避難先 | ○○小学校 |
| ※３ | 災害想定区域 | 土砂災害警戒区域・特別警戒区域 |
| ※４ | 避難情報の入手方法 | 防災情報メール、ひろしま避難誘導アプリ「避難所へＧｏ！」など |
| ※５ | 呼びかけの順番（連絡体制） | 会長→副会長→各班長→住民 |
| ※６ | 呼びかけ担当者不在時の対応方法 | 副会長不在時：会長が各班長に連絡する。 |
| ※７ | 呼びかけのタイミング | 警戒レベル３が発令されたとき。 |
| ※８ | 呼びかけの範囲の優先度 | 避難行動要支援者や土砂災害警戒区域に居住する住民から先に呼びかけていく。 |
| ※９ | 呼びかけ方法 | 電話又は戸別訪問を主とする。今後は通信アプリＬＩＮＥでも連絡が取れるようにする予定。 |
| ※10 | 呼びかけ内容（メッセージ） | ・私は○○公民館に避難するので、一緒に避難しましょう！・自分の命を守るのは自分です！急いで一緒に逃げましょう！・残った人を悲しませるのはやめましょう！ |
| ※11 | 呼びかけ・避難の確認方法 | 1. 住民に避難の呼びかけをしたら、各班長は会長・副会長のいずれかに呼びかけた人と呼びかけた人の避難先を報告する。
2. 会長・副会長は、組長からの報告を情報共有する。
 |
| ※12 | 避難経路 | わがまち防災マップを作成しており、安全に避難できる経路を設定している。 |
| ※13 | 避難所の開設 | ○○小学校（警戒レベル３発令時に開設される。） |
| 14 | 他団体との連携 | ・消防団や民生委員と連携済み。・現在、連携している団体はないが、今後、消防団や民生委員、子ども会などと話し合い、災害時における情報共有や、要配慮者の支援、平時の防災活動などについて、連携していく予定である。 |
| 15 | その他 | ・わがまち防災マップを活用して避難訓練を実施したが、新たに地域の危険箇所を発見したため、マップを更新する必要があると感じた。・避難行動要支援者に訓練参加してもらう方法を検討していきたい。 |

注　※マークが付いた項目は体制づくり必須項目です。自主防災組織で定めた内容や確認したことを必ず記入してください。